

木造住宅協会が発足

建築業界の連携強化目指し

全国中小建築工事業
団体連合会(全建連)
の下部組織「富士山木
造住宅協会」の発会式
が十四日、富士市平垣

本町のホテルグランド
富士で開かれた。
二百人余が祝う中、
会長に就任した寺崎幸
治氏(LOHAS)と



あいさつする寺崎会長

役員が紹介された。
あいさつした寺崎会
長は「昨今の建築業を
取り巻く情勢は非常に
厳しく、よりしつかり
とした体制で臨まなけ
ればならない。原油高
など、海外への依存が
高い中で地域に根差し
た工務店の存在価値は
極めて大きい。大工、
職人は次の世代に伝え
守っていかねばならな
い日本の誇るべき文化
と強調した。
世界遺産の岐阜県白
川郷合掌集落に触れ
「素晴らしい形で現存
しているのは昔の職人
の技と木造建築技術は
もちろん、地域の努力
とシステムがあったか
らこそ。我々もこの情
勢を乗り切るためには
力を合わせていかねば。
個々の小規模工務店の
取り組みだけでは力不
足。今こそ力を結集し

ていくことが必要」と
発会への思いを伝えた。
式典後には「今工務
店は何を知り・何を実
行すべきか」をテーマ
としたセミナーと懇親
会も開かれた。
協会の設立は、建築
業界の連携強化を狙い。

全建連の工務店サポー
トセンター「JBN(J
apan Builders
Network)」に所属するため、
中央との太いパイプが
でき、正確な情報をい
ち早く収集できる。
今後は会員増強に努

めるほか、セミナーな
どを積極的に開催して
資質向上にも力を入れ
ていくという。
事務局は同市大淵の
マルダイが担当。現在
の正式会員は、県内外
の工務店経営者ら五十
七人。